

「骨格美人」の漆器づくりに力を注ぐ

木挽き。自分で鍛造して研いだ鋼の刃物を使う

村瀬治兵衛工房の特長は、ベースとなる木地づくりから漆塗りまで一貫して行っているところ。中でも木地づくりは漆器の仕上がりを大きく左右します。目標は「スタイルのいい『骨格美人』の漆器を極めること」と語る三代目村瀬治兵衛さん。そのために作品のイメージをデッサンして、材料となる原木を探すところから始めるので、構想から完成まで10年かかることもあるそうです。

村瀬さんは「今の暮らしに寄り添うものを作ることが、現代の人にも受け入れてもらえる第一歩」と、新しい分野への挑戦にも意欲的です。そのためには伝統や技術だけではなく、時代の要求を読み取ること、自分ができる最善を考えることが大切だと話されます。ギャラリーでも、リビングで楽しめるお茶道具を提案し、自分流のお茶の楽しみ方を勧めています。伝統工芸をベースに、新しい発想の新しいデザインに常に挑戦を続けている、村瀬治兵衛工房です。



彫刻。指の感覚で少しずつ彫る

ここがすごい!!

失敗を繰り返して成長する

若い職人たちが目指すのはすべての工程を習得すること。夜になると自分の専門外の技術を勉強します。

「人と違うもの、人に真似のできない作品を作るには、基本となる技術の裏付けがないとできません」と村瀬さんは言います。はじめは10個のうち9個失敗するような状態だったのが、繰り返して作っているうちに失敗しなくなる。うまくいったときの感覚や感触を覚えるしかない、という言葉が心に残ります。



根来塗り。漆を塗って乾かして研いで、の繰り返し。両面を塗るのに3カ月かかる



一つひとつ手づくりで微妙な形の違いにこだわる

村瀬治兵衛工房

www.jihe.com

代表者 村瀬 治兵衛
所在地 世田谷区上馬5-27-3
設立 昭和27年(1952年)
主な事業 漆芸品の制作
連絡先 ☎03-3421-6887



三代目 村瀬治兵衛さん

VOICE 大切なのは考えて続けること

始める前からつまらないと決めつけていると、何もスタートしません。とにかく体験してみたい。最初はできなくても、どうしたらうまくいくか考えて考えて続けていると、何かしら自分にしかできないことが見つかります。